養 育 医 療 意 見 書

氏 名		男・女	生年月日	年 月 日	在胎週数	週
居 住 地					出生時の体重	g
症 状 の 概 要	一 般 状 態	1 運動不安・けいれん 2 運動異常				
	体 温	1 摂氏34度以下				
	呼 吸 器 循 環 器	1 強度のチアノーゼが持続 2 チアノーゼ発作を繰り返す 3 呼吸数が毎分50以上で増加傾向にある。 4 呼吸数が毎分30以下である。 5 出血傾向が強い。				
	消 化 器	1 生後24時間以上排便がない。 2 生後48時間以上おう吐が持続している。 3 血性吐物又は血性便がある。				
	黄 だ ん	1 あり（強・中・弱） 2 なし				
	そ の 他 の 所 見 (合併症の有無等)					
診 療 予 定 期 間	年 月 日 ~ 年 月 日					
現 在 受 け て い る 医 療	安 静 保育器の使用	入 院 酸素吸入	通 院 鼻腔栄養	注射その他の治療		
症 状 の 経 過 (具体的)						
<p>上記のとおり診断します。</p> <p>年 月 日</p> <p>指定養育医療機関 所在地 名 称 担 当 医 師 印</p>						

- 備考1 「症状の概要」の欄には、該当する番号及び事項を○で囲み、必要事項を記載すること。
- 2 継続申請の場合には、「症状の概要」の欄、「診療予定期間」の欄及び「現在受けている医療」の欄に養育医療を継続する必要があると認められた時点での状況を記入すること。また、「症状の経過」の欄に養育医療の継続を必要とする理由を記入すること。
- 3 転院申請の場合には、「症状の概要」の欄、「診療予定期間」の欄及び「現在受けている医療」の欄に転院が必要と認められた時点での状況を記入すること。また、「症状の経過」の欄に転院を必要とする理由を記載すること。
- 4 用紙の大きさは、日本工業規格A裂4番とし、縦長にして用いること。